

福島大学

人間発達文化学類
心理学・幼児教育コース

こども保育コース（福島東高校出身）

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

入学時から編入試験を意識して勉強していました。子どもや保育についてより理解を深めたいという思いから、編入試験を考えるようになりました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。また、ガイダンスはいつ、どのような内容でしたか。

1年生の10月頃から英語学習についての面談、志願理由書作成、英語・小論文の授業が始まりました。10月のガイダンスは、学習計画の確認と大学調べについてでした。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

11月から本格的に学習指導が始まりました。英語は、キャリア教養学科の英語の先生に指導していただきました。小論文については、こども保育コースの先生方に毎週課題を出していただき、添削もしていただきました。そして英語や小論文と同時進行で志願理由書も何度も書き直し、先生方に確認していただきました。面接練習は、こども保育コースの先生方と行き、試験直前にも練習をお願いしました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

こども保育コースは実習や授業で忙しいため、朝などの隙間時間で勉強することを意識しました。また、大学の授業を受ける時にも、他の人の意見と自分の意見を照らし合わせ、課題を見つけながら勉強することを頑張りました。また、編入試験を受ける上で、1年生の夏頃から高校英語の復習を始めました。そして理解度に合わせながら英語学習を進めていきました。小論文については、新聞やニュースを意識的に見て、小論文に授業に取り組みました。小論文、面接では、自分の意見を持って問題について考えるように意識しました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

対話が多い授業のため、問題について様々な角度から考えることができ、自分の意見を持って考える力が身についたと思います。また、授業では現代の保育の問題について考える場面も多いため、自らの保育観を身に付けながら子どもについて深く考えることができました。これらの学びが全て編入試験の学習につながったと思います。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

「問題解決にあたってやってみたいことを考えておく」というアドバイスです。面接をする際に、問題解決に向けてやりたいことを考えておくことで、説明に具体性が増し、学びたいことを明確化することができました。

Q. ①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

① 2年という短い時間の中で「実習や授業を通して子どもへの理解を深めよう」という気持ちでした。

② 実習の関係で学校生活は忙しいですが、「時間を見つけて編入学試験の勉強をしよう」という気持ちでした。

③ 不安が大きいけれど「今できることを最大限に出して受験しよう」という気持ちでした。

④ 分からなかった問題も多かったのですが、「今出せる力は出すことができた」という気持ちでした。

Q. これから桜の聖母短大に入学する、または桜の聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

2年間という短い時間なので十分に勉強時間が取れず、不安になることもあると思いますが「今やれることを全力で取り組むこと」が大切だと思います。先生方も親身になって相談に乗ってくださるので、不安なことは先生方に相談しながら、編入対策に取り組むとよいと思います。頑張ってください。